

令和4年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	現在、震災の影響が出ていることが感じられないため。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住環境については高台への移転新築、災害公営住宅への入居等により、生活面は落ち着いたと感じる。高齢者及び独り暮らし世帯に対するコミュニティサポートは引き続き必要と考える。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	居住施設の再建や道路等のインフラ整備が概ね完了しており、回復したものと判断できる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	震災、台風被害による復旧工事は概ね完了しているが、人口の減少等コミュニティを維持していくためには、関係人口の拡大に対する抜本的な対策が必要と思われる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	震災から10年が経過し、住環境は十分に整い、移転を希望する方の移転は完了している。雇用についても震災を起因として減少は見られない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災前の生活に戻りつつあるため。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	皆さん、お仕事に戻られたりして生活されている様なので。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	復興事業が軒並み完了しているようなので、今の状態が街の完成形と思ってました。それを踏まえて被災者の生活の回復度は今がピークで、これ以上上がることはないと思います。というのも、災害公営住宅も家賃は上がっているみたいですし、食料品店も少なく、買物に行くには交通費がかかる、人口も減る一方で、地場産業の要である魚介類が全く獲れず雇用にも影響してました。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	東日本大震災で被災した住居は、さまざまなパターンはあるが、住まいは確保でき、転居できた。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私が住んでいる地域は、住宅等も建ち、土地はまだ残ってはいますが、これから建設する人はほとんどいないと思われる。スーパー・コンビニなどは一軒もなく、買物に困難になると思われる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建について。再建をあきらめ、復興住宅に入居する人が増えた。自宅再建する人は、今では少なくなった。住宅工事は最近は見られなくなった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・現在住んでいる山田町中心部の長崎地内、転居住宅建設のラッシュを過ぎ、今は閑散となった。 ・思い出したように、ポツリポツリと住宅建設がおこなわれているが、不景気感がある。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境等の工事関係は終了したと思います。生活は元通りに戻った感じです。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	「震災があったから」という理由で生活が大変、という声は聞かなくなった。仮設住宅がすべて撤去された事は気持ち的にも大きいと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	普通の暮らしを取り戻したく一生懸命に踏ん張って来ました。立ち留り、気が付いたら十年の月、日が過ぎていました。多くの皆さんと共に良く頑張り通したと思いました。今の生活を町民の皆様は安心、安全の気持ちで日々明るく暮らしている様子が見て感じられます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住まいや仕事は震災前に戻ったこと。道路、三鉄、防潮堤、公共施設等は復旧した。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	東日本大震災津波から10年が経過し、ハード事業は終了しました。生活面においても、仮設住宅は完全撤去され、自立再建した方や、災害公営住宅に入居し、生活面は回復したと思われる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸道が全線開通まであと少しである。仮設住宅も撤去されている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興工事が終わったようなので、被災地の生活は落ち着いたという思いから、回復したように思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村では復興住宅が高い所に建てられて、皆様がそこに住んでいます。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	過去を”力”として、皆で共有し、前を見て、今の努力をつなげたい！
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	10年目にしようやく町の雰囲気落ち着いた様です。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	個々の生活は回復したと思うが、コミュニティが不足していると思われる事がたまにある。高齢者が集まる場所がない為か、朝、道の駅内で雑談している高齢者が多くなった。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	6カ月前とは、あまり状況が変わっていないと思う。震災に関しては、静かに時が流れている感じではないだろうか。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	仕事が忙しく、朝から夜まで職場にいるため、自宅以外の方の生活はよく分かりません。(地域との交流もあまりないため)
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲からの話や様子を見ていて、あまり(生活の困窮等)感じなくなっている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	被災した場所(道路や建物など)の再建状況。被災した方々との会話など。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	戸建住宅が多く見受けられるようになった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	被災前に比べて、ライフラインも回復してきていると思う。三陸沿岸道路も全部開通となり、ますます、東北の経済力も回復することを願っています。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	三陸復興道路が全面開通した。地域での高齢者のサロン等(カフェや百歳体操等)の活動が活発になったように思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災から10年以上もたち、住宅環境(住宅再建・公営住宅等入居)も生業(特に漁業)も現在は元に戻っていると思うが、住宅は高齢者が多く、亡くなる方もいたりして、公営住宅は空いたところもあるようだ。また、特に漁業は魚貝類が獲れない自然環境になっているようで収入減となっているようだ。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	住環境の再建については、既に落ち着いた様子。新型コロナの影響、たとえば新たな変異株の拡大への不安など、雇用の創出については、人々のなかに先行き不透明なイメージが離れない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活の回復は進んでいるとは思っています。だが、私の見る所は、自分の土地にて住むのではなく、公営住宅の方が多く、元地が空地が多く成っています。高齢のためとも思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	だいぶ元の町のようにはなりました。中心地の空地は気になりますが…
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	町の再建、特にハード面の再建は進みましたが、それも住宅に関する部分に限定されており、サービス関連業の整備は震災前と比較すると、まだまだ発展途上にあるものと判断されます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	今の状況をなかなか被災された方に問う事はなくなりましたが、私も含め、回復に向かっていく様に見えます。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅はぼちぼちたっているが、まだまだ空き地が多い。売り地や借地がまだまだある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナ⇒自治会などのイベントがなく、コミュニティーが足りない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の撤去も完了し、各々自力再建も進み回復へ一歩一歩前進している。一方で空き地や売り地の空間も多々見られ、見通しが立たない状況も目につく。10年経過と年齢的なものも絡み、なかなか再建したくても経済的な余裕がない人達もいると思います。若年層や高所得者は再建し易い状況か？
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	元には戻れないという実感はあります。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	衣食住等、ハード面は回復しているが、心の回復がまだまだの様子が見られる方々が見受けられる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	かさ上げた土地が空いている。高齢者や家族が地元にはいない人など、自宅を再建できなくていいのでは。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	人の状況によって違いはあるが、総合的に見ると改善されてきている。(ハード面、ソフト面において) 経済的に大変な人が、元に戻るまでは、まだ支援が必要と思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路が開通する日が、近い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	住居も整備され、仕事の状況もある程度落ち着いたのではないかとと思われるため。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	周囲に直接的に被災した方がいないので、あまり実感がない。そのため、報道等で見聞きした感じから、上記のようにとらえました。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	「震災から10年」ということで、心に区切りをつけて、前へ進もうという気持ちになっている人が多いと思う。私自身も震災当時のことを伝えようという気持ちになっている。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	様々な形で、再建は着実に進んでいると思う。また、この地でなければ体験・体感できないイベントや、施設の拡充により交流人口は増えていると感じるため。(とはいえ…中心部もまだまだ空き地が目立ち、今後の不安はぬぐえないと思う。)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅、防潮堤、道路の整備はされているが、人口減が大きく、元気、活気が減じていると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナの関係で消費は足踏み状態だが、被災者の生活は回復していると思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住宅再建はローンの借入の問題で、あきらめたとの声を聞きました。マイホームを取得できず、復興住宅で生活していかなければいけない方も大勢いると思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	当地方は、東日本大震災での被災は限定的であり、被災した方々の日常生活回復度についていえば回復の兆しが見えて来た感じがする。前回は記憶したが、震災から10年を経過し、住民の記憶というよりも震災に対する心構えが薄らいできている感じがする。震災の記憶を語り伝えることの重要性はよく言われるが実際の行動としてどう伝えるかが大事だと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸道の全線開通などハード面の復興においては回復したと言って良いと思いますが、被災者の方の心の回復については人によって回復された方もいれば、「まだ」時間がかかる人もいます。そういう方へのケアをどうしていくのが重要だと思います。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・住宅新築需要は一段落した。 ・6カ月前と状況は変わっていないと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	回復したというべきかは迷うが、震災の直接の影響から、出来るだけの回復はしたと思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	住環境の再建は回復したと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住環境の再建は達成されたかと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	住宅の再建が進み、新しい高台での生活もなじんできている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	私自身の周囲の方々は、この1年～2年ほど前には、生活は回復しており、最近(6カ月程度)変化がないと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災というより、今は、コロナの方に心が高まっていると思う。住宅も再建した方々がほとんどで、震災の10年前と比べれば生活の基盤は回復したと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	私の周りでは被災の事について口に出す人はいません。生活については、現状で落ち着いているものと思われます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害公営住宅の入居が完了し、自己再建の住宅も建ち揃い、住まいの確保は出来たように見受けられる。一方、災害公営住宅からの退去者が出始めており、空室が目立ち始めたところがある。地区の人口は2,800人になり、震災前の63%まで減少し、高齢化と少子化の流れは留まることはなく、限界集落に近づきつつある。雇用の場は回復しておらず、地区の基幹産業である漁業も水揚げの不振から、難しい経営を余儀なくされ、商工業においても、人口減少と新型コロナ禍の影響により、業績が悪化し、先の見えない状況が続いている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興の工事も終り、仕事がなくなってきた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	特にここ6カ月ほど、周囲の方々の様子の顕著な変化は感じられない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅、三陸道等、回復の様子は見られる。一方、最近、コロナ禍の影響により、回復の進み具合は鈍化していると感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	それぞれ再建は済んでいるが、震災前とは全く異なるコミュニティの中で暮らしている。高齢者にとっては特に生活の回復とは遠い状況にあると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	回復した面、被災で表に出た問題が解決していない面がある。半年で変わったか？と考えると、目に見えるような変化は感じない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナの影響で、アルバイト・パート先がなくなったり、コミュニティ再生のための集いがなくなっている状況。人とのつながりはうすく感じられます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	工事している姿があまり見なくなった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災の被害そのものからはほぼ回復しているが、度重なる台風被害やサケ・アワビの不漁等により、生活は苦しい状況が続いている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	日常の生活に於ては、被災前に近づきつつあるように思う。6カ月に限定すれば特に変化は感じられない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後に回復した生活が、新型コロナウイルス感染症の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災された皆様、お国のおかげさまで高台にそれぞれ住宅も復旧して、これから頑張ろうと思った時、コロナの問題で様々な事に響いています。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	三陸道の全線開通間近。復興住宅移転や戸建て住宅再建は進んでいるようだが、賃貸料や住宅ローンに苦慮していることを聞くことがある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住環境は新築などの現場が減り、落ち着いたように思うが、雇用に関してはよくわからない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナ禍の影響もあり、ここ6カ月間で大きな変化はないように感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業についてはどんどん悪化している。アワビ・サケは壊滅状態に近い。ウニ・イカも不漁、漁業が産業として成り立たなくなりつつあるのではないかな？
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	新型コロナウイルスの影響で、新しいコミュニティ形成が進まない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	コロナにより、大きく生活が一変し判断が難しい。ただ、10年の歳月が経過し、自分も周りも年をとった。(高齢化が進んだ)

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済は被災前と比べて回復していると思う。しかし、コロナの影響で需要が落ち込み打撃を受けている。例えば飲食店もそうだし、養殖漁業(エゾイシカゲ貝など高級貝ほど受ける)、観光業はかなりの影響を受けている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・水産商工業施設の復旧復興工事が進み、外観的には復旧復興がなされた。 ・3.11東日本大震災での海況変化か、地球規模の温暖化現象か、暖流系の魚種が見えるようになった。しかし漁獲量は少ない。親潮系の魚類が激減し漁獲量も激減し、漁船漁業・定置網漁が不振となっている。 ・浅海漁業では、磯焼けによる餌不足でウニの身いりが悪く、またアワビ採捕漁業も餌の海藻が不足で不況となっている。(磯掃除の必要性) ・浅海養殖業は、ワカメ・コンブ・ホタテ・カキ・ホヤは一応順調のようである。 ・商店街にあっては、コロナ禍で飲食業が打撃を受けているが、これに伴い他産業にも影響を及ぼしている。 ・山田中心地の国道から海岸線の買い上げ空き地が若干目立つ。これの有効活用が求められている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農林水産業・商工業等頑張っているが、次の担い手不足が見られる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	①宇部川地区ほ場整備事業が令和2年度完成し、登記事務も終了した。 ②ほ場整備事業の終了に伴い、農地の集約集積が80%以上となり、耕作放棄地もなくなり、立派な水田となりました。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	色んな支援があり、自分も組織のリーダーとして頑張ってきたが、後継者作りが上手く行くすべを見い出せない。若い力を育てたい!
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	農業、水産業の方々、よくがんばっている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	日常生活に困ることがなくなりました。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	日常生活から衣食住への影響をあまり実感しなくなった。地域の経済も活発化し、新しい店も増え、前に進んでいると感じている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	有効求人倍率が下がり続ける情報や、新型コロナの変異株の影響が心配され、地域経済は元気であるとは言えない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前の公共施設等ハード面の復興は終息。交流人口拡大を目指し観光関連業も前向きに考動してきたが間もなく2年度なるコロナの影響は予想以上に大きい。地域経済一層の回復には企業誘致等による雇用創出、定住者増加に向けた対策が急務。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生業の自立できた人々は、回復しているが、震災以前の規模迄回復したとは言えない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	エール券の利用が多く見られた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	何と言っても新型コロナ関連で人出も鈍り、飲食業や地域の商店はダメージを受けている。又、水産業も漁場の不漁という例年にない状況となっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域内は漁業中心の町ですが、特に震災後、サケ等漁獲量の減少、漁業従事者の減少で浜に活気が無くなり、漁業の町の将来が心配です。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災前にあった商店、食堂が無くなった。漁業・漁船は復旧したが、不漁である。新型コロナウィルス感染防止策で人口交流が著減している。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済は全体を見ると回復しつつあると思うが、水産加工業は不漁が続いており、厳しい状態が続いております。飲食店もコロナの影響により客が激減し、休業する店が多くなってきております。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	震災というよりも、コロナの影響の方があると感じています。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・陸前高田市の博物館も完成したり、店舗数も増えた。 ・花火大会などの催し物に伴って、県外ナンバーの車をよく見るようになった。 ・津波伝承館の駐車台数が常に多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	生産者や経営者の方々の工夫やアイデアから、新しい商品や特産品も生まれており地域経済を発展させていこうという雰囲気を感じる。ただし、コロナの影響は少なからずあり、更なる努力は必要となってくるものと思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	サケ、サンマ等の不漁も続き、又、人口減少も加わり地域経済面ではまだまだである。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済は震災前ほどではないにしろ、かなり回復していると思う。あとはコロナの終息を願うのみ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナ感染者が減少し、飲食店への客足が多少増えてきた。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	土木作業の方が離れたので、結果的に人口が減って経済面1つはマイナスになっているが、被災前よりは良いと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	まだ水産業等回復途上の箇所が見受けられる為。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	今以上良くなるには、震災とは別の点で頑張るしかないのでは。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	商工会のプレミアム付商品券の販売。普段だと隣接する市町村での買物だが、商品券がある事により町内で買う頻度が増えた。最近で考えるとコロナの影響で客足が減ったという店は多いと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災からの回復は直実に進んでいると思いますが、根本的な地域経済の活性化は今後の大きな課題であると考えます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナウィルス感染拡大により、観光産業に大きなダメージが依然としてある為、沿岸を訪れる観光客の減少は去年と比べて増えたものの、2年前と比べるとまだ戻っていないと感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	農林水産業、商工業者は、人口減少局面にある中、更にコロナ感染症拡大の影響を受けて、廃業に追い込まれる先が増加傾向にあります。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	(1)まだ工事している所がある。 (2)経済回復は、コロナの為でもあろうと思われるが、倒産した事業所などあるので、何んとも言えません。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	海産物も頑張りが見えて来た感じでしたが、海が悪く、養殖のワカメ等の育ちが思わしくなかった様です。又、期待しているマス船も出航なしで寂しい港の様子です。住宅の再建も県産材はほとんど使われずに終わりました。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	サケ、イカ、アワビなどの不漁で、水産業が大変です。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	・復興支援の様々な事業が行われているように感じる。(ニュースなど) ・どのくらい経済が回復しているか、よくわからない。 ・コロナ禍などを考えると、経済は後退したようにも感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災後、ゆるやかにある程度回復し、その後はあまり変化を感じないので。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災の影響はある程度薄くなっていると思うが、地域の経済の抱える根本的な課題が表面化して、こちらの方が根深い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	新しいお店ができて、震災前よりもよくなったと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・コロナの影響や、漁業の不振で、元気がありません。 ・三陸道の全線開通を利用した観光や、企業誘致を積極的に行う事が必要だと思います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	道路状況が整い、大型スーパー等での車両の数が増えている(人出が増えている)のを感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	漁業の不振により、地域経済は停滞している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	各事業所、店舗とも通常の営業活動を行っているように思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナに加えて、気候変動による台風被害や漁獲量減少の影響で、逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナ感染症の影響もあり、震災によるものなのか、判断がつかないため。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・震災による借入金負担が重しとなっている事業主は未だ散見される。 ・6カ月前と状況はかわらない。但し、新型コロナウイルスの影響により回復が遅れた、もしくは財務基盤が悪化した事業主は在る。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	震災、台風被害からの復興、復旧は概ねなされているが、三陸縦貫道の完工に加え公共工事の減退により建設業界中心に厳しさが増していくものと思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	震災を起因とし廃業が相次いだが、復興が進むに連れて、消費は大都市へ流出している。事業所の絶対数の減少や後継者不足により震災前から地域経済が回復しているとは言い難い。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業では、サンマやサケの不漁、新型コロナの影響による中心市街地の商業施設の閉店、ガソリンや食料品の値上げ等、被災者を取り巻く経済環境は厳しいものがあると感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナ自粛も影響し、停滞している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災のせいなのか流行病のせいなのか…いずれにしても、経済に関しては停滞していると思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	鎌ヶ崎元気市がひらかれ、屋台やキッチンカーなどがきてにぎわっている。100店舗ぐらい出る。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域経済に関しては、これからどんな産業がこの街に来るかわからず、分からない状態である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災による経済の回復は進んでいる。しかし、新型コロナウイルスによる影響が各方面に及んでいて、経済は落ち込んでいる。燃油の高騰、資材の高騰、不足など、今後も予断を許さない状況です。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	活気は、全く感じられません。生活は、おかげ様で安定し、精神状態は、あまり良いとは言えないかもしれませんが、健康的に暮せていると思います。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	水産業の柱であるサケの不漁は、震災以上に漁協の経営に打撃を与えている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	経済については、被災前は悪かったので、比べてもわからないけど、被災後に工事関係で良くなった所が、工事が終わって今後がわからない。最近ではコロナが良くなったので、進んだように思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナの影響は大きい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災の影響によるものは改善されてきていると思うが、コロナや人口減少による影響は出ていると思う。 ※人口減少が震災の影響によるかは不明だが。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナの影響でよくわかりません。(被災から比べると回復されたとは思いますが、コロナによって苦しい生活をしている人達はたくさんいると思う。)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ふるさと納税等で恩恵を受ける事業もあると思うが、再建途上でのコロナの影響がどの程度あるのかわからない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路関連事業によって、地域経済にとって物流や人的交流に期待するところが大きい反面、工事関係に伴う今までの経済効果を考え併せると一抹の不安もある。以前に比較すれば回復した感が強い。この事業の完成を地域経済の向上に向けていかに取り組むべきか、先の見通しが示されないことへの不安はある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災前でも地域経済はけっこう良かったわけではないと思います。コロナウイルスによる観光客の減少は、商工業の方々にとっては、痛手になっているように感じます。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	農林水産業、特に漁業や商業は現在厳しい状況に感じる。環境の変化と新型コロナウイルス感染症の問題が大きいのではないかと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナ禍ゆえ、やっと元気になってきたまちのお店は元気をなくし、さみしい。皆がんばっているが、限界のような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・復興需要が減少しているので、その面で仕事の量は減ってきている。 ・コロナの影響で、飲食店の経営は厳しい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	コロナの関係もあるので、よくもなく、悪くもなくと思っている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	営業基盤の主体となる大槌町に関しては、震災前より経済規模が縮小している印象。また、地域の有力企業の一部は内陸部に活動拠点を移しており、このような点も回復が感じられない一因と考えられる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回調査(令和3年7月)と同じ理由のため。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	水産業は高水温、磯焼等のため大変ですよ！先日の岩手日報の記事で県議会の答弁(農林水産部長)がある県議の質問(サケの放流)に対して、稚魚を大きくして放流とあったが、その稚魚を作るサケのイクラがないのだ！
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	主に水産業は、本来は今時期に水揚げのあるサケ・アワビが大不漁で、漁家及び加工業者は大変苦しんでいる。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	市内の商業施設が閉店するなどしている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	インフラ整備等進んでいるが、サケ漁の不振、林業の後継者不足、人口の流出等、課題が山積している。地域の特性上、企業の誘致等も望めない。さらに、コロナが追いつちを付けている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	復興による特需(?)はなくなっているところにコロナ禍。できるだけ地元の店を使うようにしているが「厳しい」という声をよく聞く。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	主力である鮭などの不漁と三陸道の工事の終了に伴い、建設業の不況が今後予想される。心配だ。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	アワビ・サケの資源がなかなか回復していない。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	大震災によるインフラの再整備はほぼ終わり、工事関係者も少なくなったように感じる。市内にあった長期滞在者用のホテルも経営者が変わった後、完全撤退して建物だけが残っている。少子化、過疎化による人口減とコロナによる経済活動の鈍化で、地元の経済状況はやはり厳しいと思う。サケやサンマなど漁獲量が減っていることも良くない。高田での花火大会のようなイベントが復活すると元気が出る。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	新型コロナの影響や水産物の不漁が続いて、漁業に明るい未来が見えない。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路の完成と共に地域経済は衰退して行きそうだ。コロナの影響もまだまだ続く。地域の高齢化もどんどん進んで行く。買い物は他の地域へ行く。仕事も他の地域へ。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	いつになったら魚が捕れるようになるのだろうか。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	地域経済の回復は、今現在は最も苦しい状況です。水産業、商工事業所、年々海の状況はわるく考えられないようです。サンマ、イカ、アワビ、その他大不漁です。なんとかご支援をお願いします。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	・サンマ、サケ等の漁獲量が年々減少している。 ・養殖事業など漁業関係者の御努力は素晴らしいと思います。 ・中心街のお店の閉店。 ・コロナによる飲食店の売上げが心配です。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	コロナの影響もあり、市内中心部のデパートが閉店となったり、商店街でも閉店するお店もあつたりで、非常に厳しい状況であると思われる。また、サンマやサケも不漁。道路は整備されているが、その分、市内で買い物する人が減り、他の市や県に流れてしまっている。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	新型コロナウイルスの影響で、経済は非常に落ち込んでいる。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	最近、新型コロナの関係からも活性化していないようにみられる。制度面の支援についてはわからない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の為かコロナの為かわからないが、経済が停滞している。閉店による失業者が増加している。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の完成など、実感出来るものが多いため。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興道路である三陸道の全線開通により災害時の避難道路、緊急時の救命救急及び物資輸送の道路として整備されたため。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤が完成しました。そういえば台風19号の時「床下浸水」になりました。昔から同じ場所に住んでいたのですが生まれて初めてでした。宅地をちゃんと整備してくれたはずなのに…。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	大規模な復興工事に伴い、ハード面の整備はほぼ終了に近づいている。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	大規模な工事も終了しており、残っている工事もわずかであり、達成したものと思われる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害(津波)に強い安全な町には成りました。被災前は川面と宅地面との差は1.5m~2.0m位でしたが、現在地は10.5mとの事と気仙川河口に水門が完成した事と、遊水池が出来た事のため、万一の時の避難時のときに時間がかせげる事が出来た。津波の時と、川の大水との時です。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤がすべて完成したこと。あとは防潮堤を過信せず避難行動に移すなど、防災意識を高めていくことが望まれる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防災施設等の工事は全て完了したと思われる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	我が町は近隣市町村より遥かに早く安全な町作りに取り組みされたと思っております。嵩上げ、又、山を平らにし、住宅地としての土地を造成し、町民はそれぞれ見合った土地に居住し、安全な生活が来ています。只、防波堤が今盛んに工事中です。災害が来ないうちに早く完了する事を願っております。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤・二線堤である県道の嵩上げも完成し、住居は高台等に移転した。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	町内全域では、防潮堤の整備は終了しておりますし、避難所・避難場所も整備され、残るのはソフト面で町民との接触の場を増やして行く事が大事だと思います。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	防潮堤の完成、三陸自動車道の全面開通と安心・安全な街作りに未来が開けて来た。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	久慈市宇部町久喜集落と野田村の前浜防潮堤が完成しております。又、復興道路の完成もまもなく聞いております。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地区によって進捗状況が異なるが、当地区、町内は上手くいっている様に思えるが、皆が気持ちの温度差が無いような、防災づくりをしたい！ —防災士を多くつくり出したい！—
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	間もなく三陸復興道路の全線開通を控え整備は直実に進んでいます。一方開通に伴う人口流出の加速化、道路建設業者の引き揚げ、商業地域の広範囲化による地域商業の衰退などが考えられる。地域に住む私たちが、市の今後のことを考えていかなければならないと思う。魅力ある街づくり＝観光業ではないと考える。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸道の全線開通は広域の医療体制の拡充が図られています。しかし、地域の医療は医師不足等の影響から専門医がおらず、盛岡(内陸)方面へ行かなければいけません。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面では達成したと思います。今後の住民の防災意識の維持が課題と思います。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	市がリードして、地域の住民が支え合う組織づくりが進められている。人と人のつながりは安全なまちづくりに通じているので、組織の今後の取り組みに期待したい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤や避難に関しては整備は進んでいると思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤や水門の工事も間近で、津波に対する対策は進んだと思います。今後は大雨による被害を防ぐため河川の整備が必要だと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	最近、磯焼けが問題になっているが、コンクリートの護岸の設置によりアルカリ化が進んだ影響はないのだろうか。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備が進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防災推進国民大会が11月に開かれた。意義のあることだったと思う。前日の新聞で知ったので、地元市民にもイベントに関心を持ってもらうように、市やNPO団体などで大きく働きかけてくれると、私も何かに参加したのにと。防災は市民の意識を高めることが必須である。このような大きなイベントがあるならコロナ禍でも広報やチラシ、ポスター等を計画的に配布して、受け入れ体制を整えてくれればよいのにと残念に思った。※職場では前日に「あるみたいだね、何をやるんだろうね。」という程度にしか話題にできなかった。子ども向けのイベントもあった？ようだが…。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	・防潮堤の完成が間近です。 ・三陸道も完成間近です。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	吉里吉里の防潮堤もだいぶ出来上がってきました。来年の夏には海開きができるかと、楽しみにしています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	県道の拡張や付け替え工事が完了すれば、ほぼ終わるのだろう。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	県の担当の防潮堤だと思うが、整備が遅れているようだ。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	道路整備や、堤防の整備は進んでいる。人の心の防災意識を常に意識して生活をしようというソフト面の取り組みは少なく感じている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	市役所や警察署の移転完了に加えて、防潮堤整備も進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面の整備は確実に進んだ。一方、震災を経験していない世代への避難方法・場所そして重要性の継承が大切であると感じる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・震災、台風被害による港湾工事、河川工事については、あと数年は要するものの着実に復旧が進んでいるように思われる。 ・自治体主導による防災マップ等の整備、避難路やルートの整備が進められているが、コミュニティ単位を主体とする防災に向けた取組もまた重要になっていくものと思われる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	堤防の建築完了や高台への住宅移転は終了している。一部の行政や学校の移転が進んでいない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	復興工事もほぼ完了したため。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	避難所などは出来た様です(高台等に)が、津波などの災害が起きた時は、防潮堤など、又、同じ事になるのでは?と思う。何を作っても大丈夫と言う事は無いのではと思うので、安全なまちとは言い切れないのではないかと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・生命の安心安全の防波堤工事は、山田湾奥関川河口付近宝来橋水門工事が、年度内完成を目指して頑張っている様である。 ・私の調査範疇外の山田町最南の田の浜地区は、復旧復興工事半ばでかなり遅れている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤で、未完成の部分があり、河川の水門はまだ建設途中。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備は、進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤だけが残る地域になりそうだ。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住民の災害に対する対応はある程度出来ていると思うが、いろんな所から来た人に対しての災害に対する対応とか訓練とかが必要になると思う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	三沿道の全線開通、防潮堤の完成など、完了したと言える。工事に携わった方々には大変感謝しています。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防波堤や堤防の工事が進んでいるのが目に見えている。まだ途中だが、今後も進むものと思われる。災害への住民意識を高めるなど、ソフト面でもまちづくりを行っている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	・防潮堤など工事が進んでいるように見える。 ・津波対策だけが災害ではないので、その他の対策も必要と思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸道も全線開通となり、ありがたい限りである。ただ、ここまでやれば絶対安全ということもないので、「やや」と判断しました。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	陸前高田市内の整備が進んでおり、工場車両台数も減っているように感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	「災害に強い安全なまち」はできつつあると思う。震災を知らない子どもたちが、大半を占めるようになった今、やはり”知る”ことを大事にしていきたい。そして「支えられる人(まち)」から「支える人(まち)」へと変わってほしいと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	小本地区での整備が着実に進んでいるため。また、洪水対策も河川改修等、着実に進められている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の高さには不安がある。復興道路が完成しつつある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ハード面はほぼ整備できたのではないかと、工事車両が少なくなった。主に県外はほとんど見られない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	・インフラの整備が進みつつとを感じる。 ・一般道路の整備も必要と感じられる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の完成の進捗は私もわかりません。たぶん、まだ作られているのではないかと。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	橋が完成し、道路も新しくなり、避難路は確保されて、安全な街はできていると思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤の工事も着々と進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	小、中、高、大学生たちの防災への意識が引き継がれていると思う場面に度々出会う。学校での教育はもちろん大事だが、周囲の大人がそれを「一緒に」活動する機会がもう少しあればいい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備によって、津波が見えないという住民さんもいて、地域の方が一致して「安全だ!」と仰る人が周りにいないと感じる。根浜地区は高台移転し、必ずしも防潮堤があるからよいという事ではなく、住民の意識にもよるのではないのでしょうか。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	三陸復興道路の全線開通等の明るい話題は聞かれ、防潮堤の整備も着々と進んでいる。が、しかし、”災害に強い”というのは、これだけではないような気がして。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	高い堤防等ができ、安全にはなってきたとは思いますが、土砂災害等にも強い地域作りが必要。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	嵩上げや港湾整備等により、災害に強いまちづくりに向けた一定の整備は完了したものと想料する。一方で、東日本大震災では想定を大きく超える津波被害が発生しており、このような点を考慮すると完全な状況とは言い難いものと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備は、この6カ月間、工事の進捗が進んでいる様な実感はありません。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の整備に関しては田老市街地に接している第1線堤及び第2線堤は完成し、水門も出来、乗り越し道路と漁港隣接の人口地盤の完成を待つばかりであるが、摂待地区の水門の完成が遅れており、地区住民は不安な日々を過ごしている。度重なる台風による災害対策の抜本的な施策は示されておらず、安全安心からは程遠いのが実情である。また、ハザードマップの配付だけのため、その内容の具体的な啓発や避難経路の周知及び自主防災組織の設立が課題として残されている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備は、その地域によって捉え方は様々です。いくらハード面は整備されつつも、高齢者の増加に歯止めもかからない中で、いかにして有事の際全ての人々がすみやかに避難できるかが心配。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	住んでいる地域での防潮堤、高台の道路はほぼできたと思う。津波への防災は進んだが、台風等の災害の道路の補修がなかなか始まらない。アスファルト舗装されていない箇所もあり、雨の時には毎回道路の半分が冠水してしまう。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	進んでいるのだとは思いますが、まだまだ、あの恐怖が払拭できるほどには思えないからです。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ゼネコンのための工事で地元のためになっていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事がまだ終わってない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面においては、防潮堤や復興道路など、かなり整備された。ここからは気持ちの風化をいかに抑えて将来まで災害に強い街を維持していけるかが課題。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	当地域は先の震災では被害が少なく済んだ関係からか、住民の間ではすでに過去のものとなっている感じがして不安になる。被災した方にとっては10年も昨日も変わりがない日常だと思うが、直接関係のない住民に取っては10年一昔の感じかと思う。また、コロナウイルスの感染に寄って、住民の生活も従来考えられる生活様式とは様変わりしてきた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	ハード面の整備はほぼ完了していると思う。被災エリアに新築された家や施設は川も近いため、以前台風による被害を受けたところもあり、「災害に強い」とは言い切れない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤やインフラは整備されたが、それだけでは安全とはいえない。震災を風化させないことが必要。防災教育、訓練を常習化させるのが大事だと思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	東日本大震災津波被害からは、防潮堤や三陸道の全線開通など災害に強いまちづくりは進んでいる。一方、千島海溝地震や、日本海溝地震に対する「津波シミュレーション」の公開や具体的な浸水区域が示されていないため、ソフト面の対策が不足している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	津波に対する備えはある程度終了したと思う。ただ、最近の災害(大雨や台風)に対しての備えはまだまだだと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	計画したハード事業は全て完了し、津波に対しては、ある程度安心できる状況だと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の完成により安全にはなっていると思うが、海が見えない不安感もあり、どちらともいえない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はあらかたできたが、水門工事がまだまだかかるようだ。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・水門が工期延長が続き、まだ完成していない。 ・田老地区防潮堤も進んではいるが、未完成。 ・避難方策について、田老道の駅に掲示板等設置した方が良いかと思うが、ないように思う。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・防災に関するインフラ整備は終了したと考える。 ・これ以上の進展はないのではないかと考える。
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	ハード面の整備は進んだが、ソフト面の取組みは進んでいなく、縦割りで横の連携も不十分なため、中途半端。また、津波にフォーカスしすぎていて、それ以外の災害の意識が低い。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	先日大雨がありました。雨水の流れが激しい所があり、側溝のブロックが浮き上がるほどです。改善を求めていますが一向に改善されません。本当に県民の声を聞いているのでしょうか。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路は開通になったが、あちらこちらで何度も土砂崩れが生じ、安全面は大丈夫か不安になる。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤はほぼ整備され、周辺の道路の整備が進められている。反面、大雨による水災害が増加しており、防潮堤やかさ上げ(盛り土)により、水の逃げ場がなく洪水被害の所がある。その対策が必要と思われる。水門工事はどうなっているのか、完成の雰囲気すら感じられない。
無回答	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	前より要望部落役員様が崖対策お願いして来ました。どうなったんでしょうか？災害に強い安全なまちづくりをお願いします。
無回答	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の工事がこの12月で終りと聞き、これで大きな復興工事は修了と知らされ安心出来ます。

令和4年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発 行

令和4年2月15日
岩手県 復興防災部 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6935

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)